

平成26年度 6月補正予算案



京 都 府

1



予算編成の基本方針

- 当初予算は、災害や雇用、教育などを中心に「安心して待ったなし予算」として府民生活を「守り」「支える」施策を中心に編成
- 今回の補正予算は、新しい京都づくりに向け
 - ▶ 人口減少時代への対応や災害、雇用など府民生活の安心を守るため、従来の発想や手法にとらわれることなく、府民の総力を結集し安心を再創造する
 - ▶ 京都の活力の源である「中小企業・伝統産業・文化」の力を高め、未来に向かっての「成長」と「活力」を再創造する

の「安心」と「活力」の再創造を基本に、施策を構築するとともに4期目のスタートらしく、各種の構想や条例制定の検討費を盛り込んだ

2



補正予算の枠組み

「安心」と「活力」の再創造 ～ 再創造挑戦予算 ～

安心の再創造

人口減少時代に対応した少子高齢化の抜本対策

「災害・雇用・環境」の新しい視点からの基本構想づくり(条例制定)

女性・地域の力を活かした防犯対策

「産業・文化・地域」活力の再創造

京都の活力は産業から（中小企業・伝統産業・農林水産業の育成）

京都の活力は文化から（琳派400年を契機とした文化・産業の振興）

京都の活力は地域から（3つの京都づくりプロジェクトとみやこ構想）

「安心の再創造」

人口減少時代に対応した

少子高齢化の抜本対策



少子化の抜本対策 (その1)

今後5年間で出生数2,000人増を目指す

少子化対策総合戦略事業費 1,092 百万円

H26年度

- ▶ 基本戦略の構築
- ▶ 婚活支援の本格実施、不妊治療拡充等

H27年度～

- ▶ 第3子目以降の保育料等の負担軽減
- ▶ 京都子育て支援医療助成の拡充
- ▶ 子ども子育て支援新制度への移行

【基本戦略づくり】

19 百万円

京都少子化対策総合戦略会議の機能強化



新たに各分野に精通した学識経験者を専門員に加えワーキングを改編

- ▶ 構成 = 学識経験者、市町村、子育て関係機関を含めたオール京都体制
- ▶ 検討項目
 - ① 少子化の要因分析、調査の実施
 - ② 「少子化対策条例(仮称)」の制定
 - ③ 第3子目以降の保育料等の負担軽減
 - ④ 医療費助成の拡充

5



少子化の抜本対策 (その2)

3本柱で推進する主な施策

「結婚」の土台を創る ～5年間で1,000組の成婚を目指す～

- 京都婚活・子育て応援隊（婚活マスター）の創設 9 百万円

【登録】▶ 婚活活動に実績があり地域で活躍している個人や、活動基盤のある団体を幅広く登録

【活動助成】▶ 婚活支援団体に対する助成制度の創設（活動助成10～30万円）

【成婚助成】▶ 婚姻成立に対する成功報酬制度の創設（1組3万円）

- 高校の授業等で「家族・子どもの良さ」を知る学習プログラムを実施

4 百万円

全国
トップクラス

「妊娠・出産」の土台を創る

- 不育症治療費助成制度の創設、男性不妊治療への助成拡充

5 百万円

2 百万円

全国
トップクラス

「子育て環境」の土台を創る

- 京都婚活・子育て応援隊（子育て支援コンダクター）の創設 11 百万円

▶ 保育園、幼稚園等の保育サービス情報、その他子育て支援情報の提供

993 百万円

- 保育所の整備推進（590名増）放課後児童クラブの整備推進（80名増）

6



高齢化の抜本対策 (その1)

【京都府の高齢化予測（出典：人口問題研究所平成26年4月推計）】

	H22年(2010年)	H37年(2025年)	伸率
総世帯数	1,120,418	1,137,578	101.53%
うち高齢夫婦世帯	120,128	142,104	118.29%
うち高齢単身世帯	121,172	169,713	140.06%

※ 総世帯数は微増だが、高齢夫婦世帯は1.2倍の増

※ さらに高齢単身世帯の伸率は1.4倍を超える予測

【全国の認知症高齢者数の予測（厚労省推計値）】

H22：280万人 → H37：470万人 ※約1.7倍となる予測



- 上記の現状を踏まえ、
- (1) 多死化社会に対応できる「看取り体制」を築く
 - (2) 回復期リハビリ病床を現状の1.5倍に
 - (3) 認知症高齢者に対する医療・介護サービスの一体的提供等に向けた環境整備の推進

京都市域包括ケア推進費 129 百万円

地域包括ケアの3大プロジェクトの展開

- リハビリプロジェクト
- 認知症プロジェクト
- 看取りプロジェクト

7



高齢化の抜本対策 (その2)

3大プロジェクトの主な施策

① リハビリプロジェクト 91 百万円

- 府立医大にリハビリテーション医学教室を開設
 - ▶ リハ医200人に加え、リハ専門医20人、リハ認定臨床医40人養成を目指す
- 回復期リハ病床整備への助成
 - ▶ 回復期リハ病床 1100床 → 1600床

② 認知症プロジェクト 2 百万円

- 京都認知症総合センター（仮称）整備構想費
 - ▶ 認知症患者に対する医療・介護サービスの一体的な提供と、地域と共生した生活を実現する複合的な施設整備に向けた検討に着手

③ 看取りプロジェクト 36 百万円

- 「2025年を見据えた看取り対策協議会（仮称）」の設置
 - ▶ 2025年に相応しい看取り社会の絵姿（看取りビジョン）を検討
- 在宅看取り体制の構築
 - ▶ 緩和ケアで使用する麻薬等薬剤供給システムの構築、訪問相談の実施
- 施設看取りへの支援
 - ▶ 多床室型特養でも看取り期に家族と一緒に過ごせる施設改修助成制度の創設

全国
トップクラス

8

「安心の再創造」

「災害・雇用・環境」の 新しい視点からの基本構想づくり



「災害・雇用・環境」の新しい視点からの基本構想づくり

災害対策や正規雇用3万人の実現に向けた事業については、安心・安全の観点から当初予算に計上

こうした課題に対し、「ワンランク上」を目指して根源的な施策を総合的に実施するため、新たな条例を制定

【 防災の安心 】

災害からの安全な京都づくり条例(仮称)検討費 1 百万円

【 雇用の安心 】

若者等就職支援条例(仮称)検討費 1 百万円

【 エネルギーの安心 】

再生可能エネルギー導入促進条例(仮称)検討費 1 百万円

「安心の再創造」

女性・地域の力を活かした防犯対策

11



女性・地域の力を活かした防犯対策

「女性の力」を活かした治安対策推進事業費 **53 百万円**

【 ストーカー・DV事案、相談受理件数の状況（H25年） 】

- ストーカー事案 790件 （対前年比 +59.6%）
- DV事案 1,101件 （対前年比 +30.1%）
- 女性からの相談受理件数 14,013件 （対前年比 +12.1%）

【 性犯罪の夜間受理の状況（H25年） 】

- 強姦、強制わいせつ事案の110番通報の約8割を夜間に受理
※夜間：午後8:00から翌日午前5:59の間

「平安なでしこ交番」の創設 ～24時間女性警察官が対応する交番～

- ▶ 女性警察官の交番配置を増やし女性被害者等への対応等を強化
- ▶ そのために必要な交番の改修を実施（女性警察官の待機室整備等）

（整備予定の13交番）

四条大宮、塩小路、上高野、中書島、柳辻、嵯峨野、久世、大徳寺前、松尾、東宇治、木津南、福知山駅前、峰山

京都の未来は
女性から

12



女性・地域の力を活かした防犯対策

特殊詐欺等被害撲滅緊急対策事業費

7 百万円

【 高齢者の特殊詐欺被害が過去最悪の状況（1月～3月期） 】

- 被害総額 H25年 8,144万円 → H26年 3億949万円（3.8倍）
- 一人当たり被害額 H25年 370万円 → H26年 938万円（2.5倍）

「地域の力」を総動員した緊急対策の実施

京都の未来は
地域から

- ▶ 地域での見守り・相談体制の強化（くらしの安心推進員の集中養成：40名）
- ▶ 食料品等宅配トラック100台に注意喚起マグネットの貼付
- ▶ 京都府警察本部による「だまされたふり作戦」の展開
- ▶ 高齢者見守り隊と府民協働防犯ステーションの個別訪問による注意喚起

性被害者支援体制整備事業費

1 百万円

- ▶ **人づくり** = 性被害者相談支援員（仮称）の養成研修の実施（30名程度）
- ▶ **体制づくり** = 「性被害者ワンストップ相談支援センター」の設置
（H27年度を目指す）

13

「産業・文化・地域」活力の再創造

京都の活力は産業から

（中小企業・伝統産業・農林水産業の育成）

14



京都の活力は中小企業・伝統産業から

3本柱で中小企業を育成

- ① 活力・育成対策
- ② 経営環境悪化克服対策
- ③ 消費拡大対策

中小企業育成促進費（京都版エコノミック・ガーデニング）その1

【 ① 活力・育成対策 】

4,026 百万円

京都エコノミック・ガーデニング支援強化事業費

【補助金 10億円規模】
【融資 30億円規模】

- ▶ ソフト（調査、試作、研究開発等：1/2）＋ハード（設備投資等：15%）支援
- ▶ 制度の特徴 = パッケージ型 + 応援隊の伴走型
- ▶ 設備投資補助金と併せて利用できる低利融資制度を創設（最優遇金利：1.7%）

伝統産業育成基盤強化事業費

20 百万円

- ▶ 力織機などの老朽化設備や刷毛（ハケ）・陶磁器製造窯などの道具類の更新を支援
- ▶ 補助率 1 / 3

商店街リノベーション応援事業費

65 百万円

- ▶ 商店街の抜本的な再生に向け「集客力向上」を集中的に展開
- ▶ 「こだわり」「話題性」を持った店舗出店を外部人材や民間資金を活用して誘致
- ▶ 店舗出店への補助制度の創設（補助率 2 / 3 : 3年間で10店舗の誘致を目指す）

15



京都の活力は中小企業・伝統産業から

中小企業育成促進費（京都版エコノミック・ガーデニング）その2

【 ② 経営環境悪化克服対策 】

500 百万円

中小企業経営安定化等支援事業費

【5億円規模】

- ▶ 原油、原材料費の高騰等で収益悪化に直面する中小企業の経営改善を支援
- ▶ ソフト・ハードの両面からサポート（補助率：ソフト1/2 ハード15%）

消費税反動減・原材料費高騰対策等緊急金融支援費

8,000 百万円

【府市協調】

- ▶ 消費増税の反動減や原油・原材料高の影響等が長引いた場合に備える融資制度の創設
- ▶ 4月から3カ月間以上の間で売上高等が前年同期比10%以上減少を要件
- ▶ 期間：10年、利率：1.9%、限度額：有担保2億円・無担保8,000万円

【 ③ 消費拡大対策 】

秋の商工・農林水産業祭開催事業費

13 百万円

- ▶ 「秋の商工・農林水産業祭」の開催支援（10月頃に開催）

16



京都の活力は中小企業・伝統産業から

京都「企業の森」創造推進費 ～ 企業交流による成長づくり ～

68 百万円

- ▶ 府内の中小企業・大学等が1/2以上属する異業種グループで、3事業者以上の中小企業が行う製品開発等を支援

支援グループの例示	支援する内容の例示	補助率
超高品質シルク開発グループ	廉価・高品質で大量生産可能な国産生糸の生産システムの開発等	1/2

イノベーションベルト構想推進費 ～ ワンランク上の研究開発からの活力づくり ～

地域産業育成産学連携推進費 50 百万円

国際戦略特区での展開支援

- ▶ 中小企業が大学等と連携して行う技術開発等を支援（補助率1/2）

中小企業R&D支援事業費 125 百万円

- ▶ 健康医療・グリーン分野での試作・研究開発を支援（補助率1/2）

R&D型企业誘致推進費 3 百万円

- ▶ ジェトロと連携し海外R&D型企业を誘致するための人材を配置

17



京都の活力は農林水産業から

T P P等の影響に備え、①生産強化 ②商品開発 ③人材育成のパッケージ戦略により、競争力のある足腰の強い農林水産業づくりを推進

農林水産業競争力強化事業費 ～ 京都10次産業プロジェクト ～

340 百万円

① 付加価値の高い農林水産物の生産強化

- 京野菜等生産加速化事業費（パイプハウス整備、酒米生産支援）【H26当初】
- 京力農場づくり事業費（農地集積、1億円農業経営体の育成支援）【H26当初】

② マーケットに対応した商品開発 104 百万円

- 中山間地域特産物生産応援事業費（地域特産物づくりの資材購入支援等）【H26当初】
- 京都6次産業プロジェクト戦略事業費【今回補正】
 - ▶ 産地と食品関連企業が連携した新商品開発
 - ▶ 「学ぶ・食べる・買う」京野菜ランドの強化
 - ▶ 霜降り京都和牛の海外輸出に向けたブランド化=KYOTO SILKY BEEF(仮称)

③ 産業を支える人材育成 236 百万円

- 農業大学校・農業経営実践型学舎による担い手の育成【H26当初】
- 丹後10次産業化拠点づくり事業費（丹後あじわいの郷の拠点整備）【今回補正】
 - ▶ 販売開発拠点 丹後食材を使った加工品の開発・販売を実施（6次産業）
 - ▶ 人材育成拠点 調理・加工・販売まで実践的な研修を実施（4次産業）
 - ▶ 都市交流拠点 優れた地域食材を味わうことや農業体験を通じた都市との交流拠点

18

「産業・文化・地域」活力の再創造

京都の活力は文化から

(琳派400年を契機とした文化・産業の振興)



京都の活力は文化から

平成27年の琳派400年を契機に、売れる商品づくりを進めるとともに、オール京都での盛り上げイベントの展開や展覧会の実施、観光誘客の取組を推進

文化戦略事業費 (その1)

【 ①「琳派」関連商品の開発 】

「琳派」商品開発支援事業費 52 百万円

- ▶ 販売力を持つマーケットクリエイターと中小企業・業界団体等が行う協働プロジェクトを支援し、新たな「クール京都」としてのマーケットを創出 (補助率：1/2)

【 ②「琳派」みやこづくりの展開 】

「琳派」饗宴プロジェクションマッピングイベント開催事業費 10 百万円

- ▶ 植物園や府内名所で琳派のプロジェクションマッピングを実施

商店街等「琳派」400年事業費 50 百万円

- ▶ 琳派をテーマに産地組合、商店街等の集客の取組を支援 (補助率1/2)

「琳派」観光誘客促進事業費 3 百万円

- ▶ 琳派ゆかりの観光資源を発掘し現代の新しい観点を交えて観光スポットをPR

まち中が琳派



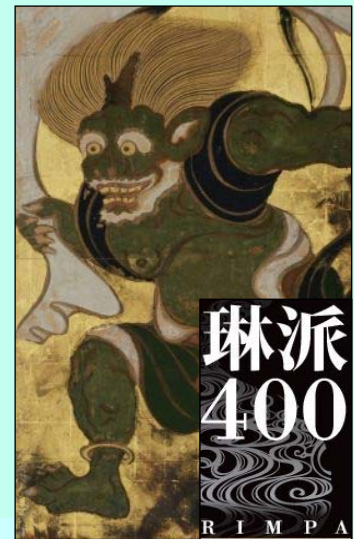
京都の活力は文化から

文化戦略事業費（その2）

【 ③「琳派」関連イベントの企画 】

琳派400年記念祭開催費 18 百万円

- ▶ 琳派400年記念祭「現代作家200人による日本画・工芸展(仮称)」の開催準備支援(開催期間)
平成27年4月25日
～5月17日(京都文化博物館)
- ▶ 琳派連続フォーラムの開催
(各界著名人の参画を依頼、海外からも招聘)
- ▶ 京都環境フェスティバル2014など府主催の各種イベントで「琳派コーナー」を設けパネル展示等でPR



【 ④ 世界に向けた京都文化の発信 】

2020京都文化フェア開催準備費 6 百万円

- ▶ 「2020京都文化フェア」推進委員会の設置
- ▶ 東京オリンピック・パラリンピック競技大会に併せて実施する文化フェアのコンセプトづくり

21

「産業・文化・地域」活力の再創造

京都の活力は地域から

(3つの京都づくりプロジェクトとみやこ構想)

22



地域構想の推進

地域構想推進費

3つの京都づくりプロジェクト 1,411 百万円

北から南までの豊かな自然や長い歴史に磨かれた京都の強みをさらに活かし
府域の均衡ある発展のためスケールの大きな交流を展開

【海の京都づくり】「海」をキーワードにターゲットイヤー（平成27年度）を見据えた総仕上げに取り組み、府北部地域が全国有数の競争力のある観光圏となることを目指す

【森の京都づくり】「森」について多面的な角度からとらえ、未来に受け継げるよう林業の活性化や森の文化の普及など、「森」の資源が京都を代表する大きな力となることを目指す

【お茶の京都づくり】世界文化遺産登録に向けた取組みを契機に、茶畑の美しい景観維持やお茶産業の振興、お茶文化の発信等を目指す

みやこ構想セカンドステージ加速化推進事業費 218 百万円

- ▶ みやこ構想を推進する設備投資を行う製造業、情報通信業者の設備投資を促進
- ▶ 補助率：15%（中堅企業は10%） 上限：30,000千円 下限：1,000千円

23



京都の活力は地域から（海の京都づくり）

海の京都ターゲットイヤー（平成27年度）に向けた総仕上げを進める

海の京都づくり 1,112百万円

観光振興戦略拠点づくり 353 百万円

- ▶ 小天橋リニューアル、稲葉本家周辺道路の景観配慮型舗装
- ▶ 丹後郷土資料館の整備
(国分寺跡の眺望整備、基本構想策定等)

戦略拠点間回遊システムの整備 516 百万円

- ▶ 国道178号の海の景色が堪能できる防護柵の設置
- ▶ 小天橋エリアに向かう府道久美浜湊宮浦明線の整備
- ▶ 戦略拠点施設への案内板等の設置
- ▶ 京都「ゆラリー」サイクリングロードの整備

「食」の拠点づくり 243 百万円

- あじわいの郷をリニューアルし丹後の農林水産10次産業化の拠点に
- ▶ 丹後コシヒカリや岩ガキ等の丹後食材を活かした地域加工品の開発・販売
- ▶ 「食」産業を支える人材を総合的に育成



24



京都の活力は地域から（森の京都づくり）

森の京都づくり

204 百万円

森の京都計画推進

2 百万円

- ▶ 「森の京都」推進会議の設置
(構想策定、統一ロゴマーク・標識デザイン等)

森の維持

14 百万円

- ▶ 要適正管理森林の指定に向けた現地調査等
- ▶ 芦生の森再生事業（生態系を回復させるための自然再生計画の策定等）

林業の活性化

81 百万円

- ▶ 京都の森林資源を活かした「京都式循環型林業構想」の策定
- ▶ 府内産木材利用拡大事業（加工流通体制強化による供給力の増加等を支援）

森の文化の発信

2 百万円

- ▶ 森にまつわる観光資源を発掘し交通事業者等と連携したプロモーションを実施

森・里の回遊システムの整備

105 百万円

- ▶ 綾部宮島線（肱谷バイパス）の整備、京都広河原美山線の改良等



25



京都の活力は地域から（お茶の京都づくり）

お茶の京都づくり

95 百万円

お茶の京都計画推進

2 百万円

- ▶ 「お茶の京都」推進会議の設置
(構想策定、統一ロゴマーク・標識デザイン等)

お茶産業の活性化

68 百万円

- ▶ 茶業研究所の機能強化
(整備基本計画の策定、「旨み検査器」の整備)
- ▶ 宇治田原町での茶園整備：10.4ha

お茶文化の発信

5 百万円

- ▶ 宇治茶づくりの文化発信を通じた茶畑景観の保全や宇治茶の消費拡大
- ▶ お茶にまつわる観光資源を発掘し交通事業者等と連携したプロモーションを実施

お茶の郷回遊システムの整備

20 百万円

- ▶ 大津南郷宇治線（あがた通り）の歩道整備、修景舗装



26



京都の活力は地域から ～地域を支える新システム～

課題を抱えている地域に密着して対応する「公共員」を配置します

「公共員」配置推進費 22 百万円

全国初

- ▶ 公共員とは＝ 過疎・高齢化が著しい農山村集落など社会的困難を抱えている地域に入り込んで、地域住民等と協働し課題解決に取り組む公共的人材
(一定の職業を持ちプラスワンで公務をこなす＝半公半私)

【 具体的な配置 】

「里の公共員」 17 百万円

- ▶ 「命の里」事業の取組をさらに高める地区に配置
- ▶ 地域に居住する人材を任命
- ▶ 従来の「里の仕事人」とともに課題解決を担う

「まちの公共員」 5 百万円

- ▶ 高齢化する団地の活性化など、上記のような農山村集落に限らず、解決困難な課題を有する地域に配置

27

(参考)

安心の再創造・未来への活力づくりに
向けた新プロジェクト

28



新プロジェクトの始動

新規条例の検討

各 1 百万円

- 災害からの安全な京都づくり条例(仮称)検討費
- 若者等就職支援条例(仮称)検討費
- 再生可能エネルギー導入促進条例(仮称)検討費
- 少子化対策条例(仮称)検討費
- 農山村地域における耕作放棄地・空き家条例(仮称)検討費

新規構想の策定等

- | | |
|-----------------------|--------|
| ○ 「公共員」配置推進費 | 22 百万円 |
| ○ 医科大学附属病院機能強化ビジョン策定費 | 80 |
| ○ 洛南病院あり方検討費 | 8 |
| ○ スポーツ国際大会等誘致活動費 | 1 |
| ○ 海外サテライト校設置準備事業費 | 1 |
| ○ 2020京都文化フェア開催準備費 | 6 |
| ○ 全国育樹祭開催準備費 | 4 |
| ○ 和食文化高等教育機関準備室設置費 | 4 |
| ○ 丹後郷土資料館整備基本構想策定費 | 99 |
| ○ 「海の民学舎」創設費 | 6 |
| ○ 林業の星育成事業費 | 1 |

29



予算案の規模

平成26年度 現計予算

897,070 百万円

(対前年99.6%)

(地財 100.7%)

平成26年度 6月補正予算

22,213 百万円

合計

919,283 百万円

対前年当初予算比較

(102.1 %)

地財100.7%

(給与削減影響勘案へ-ス)

30